

## 三宿病院内分泌代謝科における臨床研究と学会への報告のご案内

内分泌代謝科では、三宿病院倫理委員会の承認をえて、第62回日本糖尿病学会年次学術総会において「当院入院患者における肝膿瘍の後方視的研究」という演題名で学会報告（2019年5月23日～5月25日）を行います。

糖尿病の患者さんにおいては、微小血管（網膜症・神経障害・腎症）・大血管障害（脳梗塞、狭心症/心筋梗塞、動脈閉塞疾患）のみならず、感染症も重要な合併症として位置づけられております。肝臓に膿瘍を形成する肝膿瘍も、まれな疾患ではありますが、免疫力が低下している患者さんや糖尿病の患者さんでは不明熱の原因となり、時に重篤化することがあります。今回当院に肝膿瘍でご入院された患者さんのデータを過去に遡って調べることにより、糖尿病の有無で特徴や経過に差異があるかを比較検討したいと考えております。

2010年4月から2019年3月に肝膿瘍で入院加療された患者さんを対象とします。患者さんの臨床データ（年齢、性別、既往歴、糖尿病の有無、治療内容、採血データ、画像データ、治療経過など）をカルテから収集し、糖尿病の有無で臨床データに差異があるか情報を取りまとめ、統計学的に解析させていただきます。

既存情報のみを用い、あらたに研究のために患者さんから検体を採取したり検査を施行したりすることはありません。

この臨床研究において患者さんの個人情報には匿名化によって管理され、プライバシーが保護されます。また、ご自分の臨床情報を研究に使わないでほしいというご希望があれば三宿病院事務部庶務課までご連絡をいただけますようお願いいたします。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、診療には全く何の影響もなく、いかなる意思においても不利益を被ることはありません。

この臨床研究は2014年の文部科学省と厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」で定めるところの「侵襲を伴わない研究」、「介入を伴わない研究」、「人体から取得された試料を用いない研究」に該当し、三宿病院医学倫理委員会でも承認されています。

今回、われわれは三宿病院医学倫理委員会の規定に基づいて、三宿病院のホームページにて公開することにいたしました。なお、当件についてのお問合せやご相談がございましたら、三宿病院事務部庶務課までご連絡ください。

今後もさらなる研究を積み重ね、皆様に信頼される医療機関となるべく、努力してまいりますので、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

内分泌代謝科 本田 宗宏